



緑ECO通信

第136号 平成31年

1月



編集・発行 資源循環局緑事務所 (045) 983-7611

<http://www.city.yokohama.lg.jp/shigen/sub-soshiki/jimusho/midori/eco/3001eco>

昨年のごみの減量化・資源化にご協力いただきありがとうございます。今年もよろしく願います。



緑事務所職員一同頑張ります!

明けましておめでとうございませす

外国人分別説明会 IN霧が丘



通訳さんと連携して説明



最後は皆で記念撮影

自治会長さんご挨拶



KIC 代表のご挨拶



皆さん真剣に聞いてます

霧が丘24街区
自治会長

霧が丘センター
自治会長



子どもたちも真剣

12月8日(土)、霧が丘グリーンタウン22街区の集会所にて、霧が丘在住の来日された住民の皆様向けの「ごみと資源物の分け方・出し方説明会」を今年の3月に引き続き、実施しました。

この説明会は、霧が丘インターナショナルコミュニティ(KIC)が主催し、ジャパンハウジング株式会社、株式会社URコミュニティ横浜住まいセンター、緑区地域振興課と資源循環局緑事務所が共催、さらには地元、霧が丘センター自治会、霧が丘24街区自治会の協力のもと開催されました。

外国語で説明をするために、ジャパンハウジング株式会社から来ていただいた通訳の方(代表取締役の方でした!)の丁寧な翻訳を交えての進行となり、普段の啓発の倍の時間がかかりましたが、横浜市の分別ルール・粗大ごみの出し方等への理解を深めていただきました。

どこの国に在住していても、必ずごみは出るもの、そしてそれは適正に処理されなければなりません。引き続き、わたしたち緑事務所は、地域の皆様のご協力とご理解を得て、ごみの減量化・資源化に向け様々な企画を実施していきたいと考えております。どうかよろしくお願いいたします。

第4回各地区環境事業推進委員活動報告(白山地区)

7月号から隔月(奇数月)で、緑区内11地区の環境事業推進委員の皆様の様々な活動について「緑ECO通信」紙面で報告していただくこととしました。寄稿された原稿と写真を掲載します。第4回は**白山地区**です。

白山地区環境事業推進委員会の活動

白山地区では、1か月に2回、定期的に町内全域に渡り、ごみ集積場所の見回り活動を実施しております。

また、ごみ集積場所での集積カゴの補修・回収後に多く残っているごみ集積場所については、ポスター等で分別の御協力をお願いしております。

また、地域活動の中で、自治会、地区社協の催事・福祉まつり、盆踊り大会等で啓発活動を行っています。

皆さん会議に集中



仲良く集合写真

区民まつり



日産スタジアム



12月1日(土)、日産スタジアムにて、泉事務所と合同で『ごみと資源の出張相談ブース・タブレット式分別ゲーム』を出展しました。当日はタブレットを使用した分別ゲームの前に長い列ができ大人気でした。



只今10分待ちです



押さないでください



施設見学会



12月7日(金)、毎年恒例となっている推進委員さんと**大迫力**施設見学会に行ってきました!

はじめに**金沢資源選別センター**に行き、選別センター所長から施設の説明を受け、その後実際に施設の中を見学、普段は見られない所まで案内してもらいました。



アルミ缶の「壁」

手作業に興味津々



続いて**資源循環局金沢工場**に着き、映像で施設の説明を受けた後、実際に中を見学させてもらいました。工場の方から各箇所を丁寧に説明していただきました。

最後は、**南本牧第5ブロック廃棄物最終処分場**に行きました。ここでは処分場の所長にバスに乗車していただき施設内をバスで回りながら、説明をしていただきました。ありがとうございました。



ピットの広さにびっくり

記念撮影



バスガイドさん?



第5ブロック施設

食品ロス削減住民説明会

12月15日(土)、ハイラーク横浜白山にて、食品ロス削減説明会を行いました。

当日は土曜日にもかかわらず30名以上の住民の方々にお集まりいただきました。皆さん食品ロス削減に興味津々で、質疑応答ではたくさんの質問やご意見をいただきました。



関心が高い

会長自らお願い

これからも食品ロス削減にご協力をお願いします。

ごみと資源の原単位
〈ひとり一日あたりの排出量〉

	30年9月	昨年同月
横浜市平均	572g	624g
うち燃やすごみ	390g	426g
緑区	555g	606g
うち燃やすごみ	386g	423g

※ミドリンの分別ワンポイントはお休みさせていただきます。